

令和7年度事業報告書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

1. 《公益目的事業》

美術品・工芸品の展示公開を通して、国民の文化芸術に対する創造的な育成と文化発展を図るとともに、スポーツの振興支援を通じて国民の心身の健全な発達に寄与する事業
(定款第4条第1項第1号～7号)

(1) 美術品の保存及び一般公開

平山郁夫館では2期、佐藤忠良館は2期、樂吉左衛門館は1期に分けて展示を行い、年間を通して三作家の制作への想いを広く紹介した。

樂吉左衛門館茶室においては、毎週木・金曜日に茶室見学を実施。

平山郁夫館 〈平和の祈り〉

第一期：旅の誘い

3月8日（土）～7月6日（日）

第二期：平和への祈りを託して

7月16日（水）～9月28日（日）

佐藤忠良館 〈ブロンズの詩〉

第一期：初めての彫刻鑑賞

2月4日（火）～5月6日（火・休）

第二期：響き合う彫刻

5月15日（木）～9月28日（日）

樂吉左衛門館 〈守破離〉

第一期：伝統と挑戦

3月8日（土）～9月28日（日）

茶室見学 毎週木・金曜日【40日間実施】

立礼呈茶 5月25日（日）、9月13日（土）

参加者： 591人

参加者： 47人

(2) 美術に関する各種展覧会の企画及び開催

年間を3期に分け、様々な企画展覧会を開催。

① わけあって絶滅しました。展

会期：3月8日（土）～5月6日（火・休）

入館者数：71,287人

【会期日数：72日、開館日数：62日】

シリーズ累計発行部数96万部のベストセラー書籍『わけあって絶滅しました。』をベースに、驚きの理由で絶滅していった生き物たちを紹介した展覧会。

本展では、古生代、中生代、新生代と時間の流れに沿って迫力満点の化石や大型標本、ロボット、イラスト解説パネル等を展示し、それぞれの時代にどんな生き物が栄え、そして絶滅していったのか、子供から大人まで学べる内容を紹介した。

② 戦後日本画壇の風雲児 日本画家 横山操展

会期：5月15日（木）～7月6日（日）

入館者数：12,209人

【会期日数：73日、開館日数：63日】

戦後の日本画壇に彗星の如く現れた日本画家・横山操。洋画家を志し14歳で上京するも、日本画家へ転向し、川端龍子が主宰する青龍社の展覧会に初出品初入選することで、画家として大きな転換点を迎えます。

本展では、青龍展への出品作、無所属で活躍していた時代の作品など、代表作を含めて横山の画業を紹介。併せて公開される機会が少なかった丹念で精緻に描かれた作品などによって、知られざる一面も紹介した。

③ ベルナール・ビュフェ 偉才の行方

会期：7月16日（水）～9月28日（日）

入館者数：22,823人

【会期日数：64日、開館日数：55日】

フランスの画家・ベルナール・ビュフェは、黒い輪郭線とモノトーンに近い色使いで1940年代後半に独自のスタイルを確立した。彼の描く作品は、見る人に驚き、不安、ショックを与えるだけでなく、第二次世界大戦で疲弊したフランス人の心を見事に映し出していると称讃されるとともに、ピカソに比肩する逸材と評された。本展では、世界屈指のビュフェコレクションを有するベルナール・ビュフェ美術館の所蔵作品より、1940年代から最晩年に至るビュフェ芸術を紹介した。

■令和7年度入館者数 82,276人

(3) 美術文化に関する講演会、シンポジウム等の教育普及活動

教育普及活動としてワークショップ等のイベントを実施。

①次世代を担う子どもたちへの教育普及活動

・ S G Hこども未来スクールの実施

変化する時代を生き抜くために必要な力を伸ばすため、
小学5年生～中学2年生を対象に全3回のプログラムを実施。
6月～2月開催

参加者： 43人

・ さがわきっずみゅーじあむ ワークショップの実施

8月1日（金）～3日（日）、9日（土）、24日（日）

参加者： 250人

・ 守山市教育委員会連携授業 芸術鑑賞教室

守山市公立小学校 全9校29クラス

11月28日（金）～1月27日（火）【8日間】

児 童： 942人

②講演会等の普及イベントの開催

・ コンサート

トワイライトコンサート第一夜

5月31日（土）

聴 衆： 54人

トワイライトコンサート第二夜

9月6日（土）

聴 衆： 120人

・ 展覧会関連イベント

横山操展ギャラリートーク 講師：当館学芸員

6月1日（日）、8日（日）、14日（土）

参加者： 134人

横山操展記念講演会 講師：横山秀樹氏

6月15日（日）

参加者： 52人

日本画ワークショップ 講師：当館学芸員

6月29日（日）2回

参加者： 29人

ビュフェ展開幕ギャラリートーク 講師：杉崎有弘氏

7月16日（水）

参加者： 41人

ビュフェ展記念講演会 講師：小針由紀隆氏

7月26日（土）

参加者： 54人

・ 常設展示関連イベント

触れて感じる彫刻鑑賞会 講師：当館学芸員

4月5日（土）、6日（日）

参加者： 742人

ギャラリートーク 講師：当館学芸員

9月14日（日）2回

参加者： 75人

③地域社会・他館との交流

・地域社会との交流事業

ルシオール・アート・キッズフェスティバル（主催：守山市、守山市教育委員会）

5月18日（日）

参加者：398人

守山市協働事業

生涯学習支援美術講座「美学」（全8講座）

10月12日・19日・26日、11月9日・23日・30日、
12月7日・14日（各日）

受講者：113人

・教育機関との連携事業

博物館実習受け入れ

7月30日（水）～8月3日（日）

受入大学：成安造形大学

実習生：1人

職場体験受け入れ

7月1日（火）～5日（土）

受入学校：守山中学校

生徒：6人

・他の美術館との交流

作品借用

東京国立近代美術館、新潟県立近代美術館、他6館

ベルナール・ビュフェ美術館

横山操作品：57点

ビュフェ作品：67点

作品貸出

花巻市立博物館

福井県立美術館

平山郁夫作品：57点

平山郁夫・佐藤忠良・樂直入・梵鐘：72点

友の会会員への観覧料相互間割引提携館

MIHOMUSEUM、大和文華館、松柏美術館、林原美術館、

夢二郷土美術館

(4) 美術工芸に関する図書の作成及び刊行

・佐川美術館 季刊誌『うつろひ』作成・刊行

4月1日、7月1日、10月1日、1月1日の4回発行

A4判各号 1,000部

・佐川美術館オリジナルカレンダーの作成・刊行

18,220部

(5) スポーツの普及振興を支援するための講習会、競技会・大会の企画及び開催

①未就学児対象イベント

・親子走り方教室

親子で一緒に速く走るためのポイントを指導。

4月19日（土）、20日（日）

参加者：402人

・親子de運動あそび

親子で一緒に様々な遊びを取り入れた運動プログラムを実施。

8月2日（土）、3日（日）、1月17日（土）、18日（日）

参加者：652人

②小学生対象イベント

・走り方教室

速く走るためのポイントを指導。

5月10日（土）、11日（日）、17日（土）、18日（日）、
24日（土）、25日（日）

参加者：567人

・カヌー教室

琵琶湖でカヌーを通じて自然体験を実施。

9月6日（土）、7日（日）、14日（日）、15日（月・祝）、
20日（土）、21日（日）

参加者：510人

・S G H文スポスポーツフェスティバル・ソフトボール交流戦

JDリーグ：S G H、シオノギ、日本精工の選手とティーボール大会や運動会を
行い、S G H対S G Wのソフトボール交流戦を実施。

11月22日（土）、23日（日）

参加者：276人

③大人対象イベント

・シニア向け健康体操教室

健康な身体を維持するため、ストレッチ等のトレーニング方法を指導。

6月14日（土）、15日（日）

参加者：125人

④全世代対象イベント

・びわこウォーキング

歩く姿勢を指導し、琵琶湖岸のウォーキングを実施。

4月5日（土）、6日（日）

参加者：200人

・ランニングフェスティバル

1日目に初心者向けのランニング教室を行い、2日目にミニマラソン大会を実施。

11月8日（土）、9日（日） ※2日目は雨天中止

参加者：45人

⑤競技者対象イベント

- ・ 関西圏大学ソフトボール交流大会
関西圏の大学女子チームが参加し、交流試合を実施。
7月5日（土）、6日（日）
参加者：242人
- ・ S G H文スポSAGWA SHIGA CUP（サッカー大会）
関西圏の中学生チーム（U-14、U-13、新U-13）が参加し、交流試合を実施。
12月26日（金）、27日（土）、28日（日）、29日（月）、
3月26日（木）、27日（金）
参加者：517人
- ・ ソフトボールセミナー・交流大会
滋賀県、京都府の高校女子チームを対象に、S Gホールディングスギャラクシー
スターズによる講習や交流試合を実施。
11月29日（土）
参加者：101人
- ・ 小学生女子ソフトボール交流大会
関西、東海地区の小学生女子チームが参加し、交流試合を実施。
1月24日（土）
参加者：163人
- ・ 陸上競技セミナー
滋賀県の高校生を対象に、東海大学陸上競技部による座学や
トレーニングを実施。
3月28日（土）、29日（日）
参加者：197人

⑥守山市連携事業

- ・ 野洲川健康ファミリーマラソン大会
未就学児、小学1～3年生を対象に、走り方教室を実施。
3月1日（日）
参加者：140人

⑦陸上競技会

- ・ S G H文スポ杯滋賀県小学生陸上記録会
滋賀県の小学生を対象に、短距離と長距離種目を実施。
5月31日（土）、10月19日（日）、2月22日（日）
参加者：1,422人
- ・ S G H文スポ長距離トワイライト記録会
陸上競技者（高校生）を対象に、長距離種目を実施。
9月13日（土）
参加者：123人
- ・ S G H文スポチャレンジ競技会
全国高等学校駅伝競走大会に出場できなかった選手等を対象に
長距離種目を実施。
12月22日（月）
参加者：213人
- ・ S G H文スポ陸上競技会
陸上競技セミナーの一環として、陸上競技者（中学生以上）を対象に
長距離種目を実施。
3月29日（日）
参加者：130人

⑧特別協賛

- ・ わたSHIGA輝く国スポ・障スポ2025
大会へ協賛し、会場でPRブースを出店
9月28日（日）～10月8日（水）、10月25日（土）～27日（月）
ブース来場者：3,533人
- ・ 全国中学校駅伝大会
12月14日（日）
参加者：528人
- ・ B I W A K Oクロカン
2月1日（日）
参加者：1,171人
- ・ びわ湖マラソン
3月8日（日）
参加者：7,477人
- ・ J Dリーグ
滋賀、京都大会：4月、5月、6月、10月
来場者：6,330人

■令和7年度スポーツイベント参加者数 25,064人

2. 《収益事業》

- (1) コーヒーショップ・ミュージアムショップ運営会社へのスペース
賃貸事業
賃料収入：120万円
- (2) 佐川美術館オリジナルカレンダーの販売及び企画展作品・建物の図書
販売事業
物品販売収入：1,870万円

3. 《法人の運営体制の充実を図るための取組》

- ・ コンプライアンス強化の対応として内部通報できる体制を整備している。
- ・ 公益財団法人の実務に詳しく、かつガバナンスに対し深い知識を有する外部専門家と契約を結び、助言を得ることで適正な法人運営に努めている。
- ・ 評議員、理事、監事に対し、定期的に美術館の企画展に関する情報やスポーツイベントの開催報告書を送付し、組織の活動状況について十分な情報共有を行っている。

令和7年度入館者数: 82,276人 (令和7年4月1日～令和7年9月28日)

令和7年度展示実績

(1) 常設企画展

期 間	展 覧 会 名	展 示 作 品 数		
3月8日～7月6日	旅の誘い	平山郁夫	本画	22
			素描	40
2月4日～5月6日	はじめての彫刻鑑賞	佐藤忠良	彫刻	11
			デッサン	2
3月8日～9月28日	伝統と挑戦	樂直入	陶器	29
7月16日～9月28日	平和への祈りを託して	平山郁夫	本画	15
			素描	44
5月15日～9月28日	響き合う彫刻	佐藤忠良	彫刻	31
			デッサン	3
5月15日～9月28日	佐川美術館コレクション ベルナール・ビュフェ	ベルナール ・ビュフェ	油彩画	16

(2) 特別企画展

期 間	展 覧 会 名	展 示 作 品 数		
3月8日～5月6日	わけあって 絶滅しました。展	標本類	化石、模型、 骨格標本、 パネル、バナー	139
5月15日～7月6日	戦後日本画壇の風雲児 日本画家 横山操展	横山操	日本画	57
7月16日～9月28日	ベルナール・ビュフェ 偉才の行方	ベルナール ・ビュフェ	油彩画	67